



施策Ⅲ－４ 人材の育成

老朽化施設の増加により、今後は点検や調査等の業務量の増加が見込まれています。安定して下水道サービスを提供していくためには、現場業務に習熟したベテラン職員がＯＪＴなどを通じて若手職員に技術を継承し、委託業務に対する履行監視能力を備えた人材を育成していかなければなりません。

また、あわせて将来のＩＣＴ*、ＡＩ*等の情報通信技術による維持管理に対応できる人材を育成していく必要があります。

【主な取組み】

職員研修の実施

⇒各団体で実施している集合研修や他団体への派遣などを積極的に実施

ＯＢなどのベテラン職員による技術の承継

⇒再任用職員等によるＯＪＴなど若手職員の指導・育成

具体的取組

取組 1	人材育成
概要	計画目標の達成に向け、業務を遂行するには、備えるべき職員の能力も求められます。また、その能力を職員が有しているかを正確に把握するとともに、職員の実績を記録・蓄積していくことも大切です。 そこで、組織の要求する能力の水準に基づく人材育成を実施することで、確実な事業運営を目指します。 また、業務を遂行していく上で、コンプライアンス教育の徹底や事故防止のための労働安全衛生教育を継続していきます。
主な事業	・ 組織要求の人材整理 ・ 下水道部局研修の実施